

令和2年度公益財団法人奈良県スポーツ協会事業報告

本会は、県民の心身の健全な発達に寄与することを目的とし、県民の体力向上及びスポーツの振興並びに競技力の向上のための関係諸事業を効率的、積極的に展開し、本県のスポーツの充実・発展に努めた。

【I】社会体育の振興事業

(1) ならスポーツフェスティバル事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

奈良県民総参加のスポーツの祭典として位置付け、地域におけるスポーツ活動の集大成の場として、本県の生涯スポーツを振興することを目的とした事業

◆事業内容

○総合開会式

- ・開催日 令和2年7月5日(日)
- ・会場 ジェイテクトアリーナ奈良
- ・参加者
 - 式典音楽 奈良県警察音楽隊
 - 選手団等 県スポーツ協会加盟団体(市郡村体育・スポーツ協会)
県スポーツ協会加盟団体等(種目団体等)
県スポーツ協会功労賞受賞者
来賓・役員
出演団体 県レクリエーション協会
一般参加者

○第71回県民体育大会

- ・開催日 令和2年7月5日(日)・12日(日)
- ・会場 県立橿原公苑施設・県内外施設 全43会場
- ・参加者 陸上競技外43競技
- ・市郡村対抗戦を開催し運営する各種競技団体と総合開会式に参加する市郡村体育・スポーツ協会へ経費を助成

○第29回県スポーツ・レクリエーション祭

- ・開催日 令和2年10月31日(土)・11月1日(日)
- ・会場 県立橿原公苑施設他 全22会場
- ・参加者 25種目
- ・事業内容 種目別大会、フリー参加種目

(2) スポーツ指導者養成事業

地域のスポーツ団体等において指導を行っている者等について、(公財)日本スポーツ協会(以下、「J S P O」)公認スポーツ指導者の資格取得を通して、意欲の高揚、知識の拡充、技術の向上など、資質向上を図り、地域のスポーツ団体等の中心となる指導者の養成を行った。

◆事業内容

○令和2年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ I 養成講習会

- ・ J S P O 公認スポーツ指導者を養成するための講習会(公認コーチ I 1 競技)を実施(軟式野球・バレーボールについては新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止)

◆実施状況

- ・ 共通科目 NHK 通信
- ・ 講習(40 時間以上)及び検定は、競技別に各競技団体に委託して実施
- ・ 公認コーチ I 専門科目
- ・ 実施団体 バドミントン競技 令和2年9月29日(日)～12月1日(日)
- ・ 天理大学1会場 20名受講

(3) 奈良県スポーツ指導者研修会事業

J S P O 公認スポーツ指導者について、資格更新(4年ごと)のための義務研修を通じて、現場での指導活動に際して最新の知識・情報を提供した。

◆事業内容

○ J S P O 公認スポーツ指導者の資格更新のための義務講習の実施

◆実施状況

- ・ 開催日 令和2年11月7日(土) 奈良県産業会館 大ホール
- ・ 参加者 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者他 計 54名
「中・高年者のための運動プログラム ～人生100年時代の健康法～」
講師: さわだ鍼灸整骨院
院長 澤田 良英 氏
「女性アスリートが活躍するための心理学」
講師: 金沢学院大学 人間健康学部 スポーツ健康学科
教授 丸山 章子 氏

(4) 都道府県体育協会総合型クラブ育成支援事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモート開催

県に配置しているクラブ育成アドバイザーと協力し、総合型地域スポーツクラブの事業を行った。

◆事業内容

- 総合型地域スポーツクラブの普及・育成に関する事業を円滑かつ計画的・効率的に運営するため、事業内容等について協議・検討を行った。
- リモートネットワークアクション2020 令和2年12月14日(月)開催
- 近畿ブロッククラブネットワークアクション2020会議は新型コロナウイルス感染拡

大防止のため中止

(5) 競技大会開催奨励事業

県内において全国規模の競技大会の開催を奨励するため、大会開催経費の一部を助成する事業であるが本年度は実績なし。

(6) スポーツ医・科学推進事業

県民の健康増進と体力の向上、競技選手の競技の向上を図るため、県補助を受けて、スポーツ医・科学の調査研究、スポーツドクターの派遣、研究会を目的とした事業

◆事業内容

○スポーツ医・科学の調査研究

※鹿児島国体が延期のため中止

国民体育大会出場選手健康調査問診票の結果分析による調査研究報告書の作成を行う事業

○スポーツドクターの派遣

※鹿児島国体が延期のため中止

ドーピング防止及び国体選手団の健康管理の観点から第75回国民体育大会へ帯同ドクター派遣を行う事業

派遣日程：令和2年10月3日（土）～13日（火）

「国民体育大会本大会」のドクターズミーティングへの派遣

○スポーツ医・科学研究会の開催「第33回奈良県スポーツ医科学研究会・奈良トレーニングセミナー2021」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモート開催

本県スポーツの普及・振興を図るために、医・科学的立場に基づいた指導が必要不可欠であることから、医師、体育関係者がリモートにより研究会を開催し、研修を深める取り組みを行った。

◆実施状況

- ・開催日 令和3年2月11日（木・祝）
- ・会場 リモート開催 参加者102名
- ・講演 「パラリンピックの魅力と意義～パラトライアスロンを通じて～」
奈良県立医科大学 整形外科学教室 学内講師 藤井 宏真
「スポーツ心理学を基盤としたメンタルトレーニング」
園田学園女子大学 人間健康学部 教授 荒木 香織

(7) アンチ・ドーピング教育・啓発事業

国体選手を中心に教育・啓発活動を実施し、薬物乱用・誤用の認識を高めることにより、競技者の健康の害を防ぐとともに、健全なスポーツ活動を寄与することを目的に研修会を行った。

◆事業内容

- 令和2年度国民体育大会監督・選手に対するドーピング防止教育・啓発研修会の開催
- 令和2年度日本スポーツ協会加盟団体スポーツドクター代表者協議会に参加

◆実施状況

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモート開催

国体実施競技団体に対する研修会

- ・開催日 令和2年6月12日（金）～令和3年2月15日（月）
- ・会場 リモート開催 国体実施競技団体視聴
- ・演題 「医療機関受診を含むTUE申請、ドーピング検査の実際、インテグリティについて」
- ・講師 笠次良爾 日本スポーツ協会公認スポーツドクター（整形外科）
- ・演題 「サプリメントと内服について」
伊佐勝彦 日本アンチ・ドーピング機構公認スポーツファーマシスト

(8) 表彰事業

本県のスポーツ振興に功績があったと認められる指導者・選手の表彰を行った。

◆事業内容

○功労賞

- ・開催日 令和2年7月5日（日）
 - ・会場 ジェイテクトアリーナ奈良
- 授与式については 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

功労賞受賞者 30名

○会長賞・奨励賞

- ・開催日 令和3年3月22日（月）
- ・会場 ホテルリガール春日野

会長賞	個人	15名	団体	2団体
奨励賞	個人	31名	団体	8団体
特別賞	個人	4名		

(9) 市町村対抗子ども駅伝大会事業

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

市町村子ども駅伝大会を通して子どもの健全育成を図るとともに、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、また、市町村対抗で実施することにより、県民の意識を高揚させ、県民が一体となって盛り上がることのできる伝統的な行事として定着させることを目的に助成を行う事業

【Ⅱ】競技力向上関連事業

(1) トップアスリート育成支援事業

ジュニアから一貫した指導システムを構築し、将来オリンピック等の国際大会で活躍できるトップアスリートの育成を目指し実施する「選手育成強化事業」により構成し、トップアスリートの輩出を目指した。

◆事業内容

○選手育成強化事業

- ・国民体育大会関係競技の選手強化を図るため、それぞれの競技からヒアリングを行い、コンディショニングをはじめ遠征・合宿、日帰り強化練習にかかる支援を行った。
- ・対象競技 40 競技

(2) 競技力向上対策事業

○指導者育成強化事業

- ・専門スポーツ指導員（ウエイトリフティング）を配置し、依頼のあった高等学校等へ派遣し、ジュニア層の選手の技術指導を行う。
- ・青少年期に携わる指導者ならびに保護者、選手に対してアスリートに必要なトレーニングの知識及び実技等を提供した。

◆実施状況

○「育成年代スポーツ障害予防セミナー・スポーツ検診」

- ・開催日 令和2年11月29日（日）
- ・参加者 191名
- ・会場 榎原運動公園屋根付き運動場
- ・内容 県内の育成年代の選手に対し、検診及びトレーニング方法の指導を実施した

○練習環境整備事業

- ・経年劣化による練習器具・用具の更新を行い、競技力の維持安定、強化を図るため競技団体に対し器具・用具の更新を行った。
- 実施競技 セーリング、柔道、バドミントン

(2) 国民体育大会等派遣事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、近畿ブロック大会は中止、鹿児島国体が延期

（公財）日本スポーツ協会（以下「J S P O」という）が国及び開催地の都道府県と共同して開催する国民体育大会への選手等の派遣及び選手選考会の開催等を行うことにより、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚し国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツを振興することを目的として事業

◆事業内容

○本大会(9～10月)、冬季大会(1～2月)、近畿ブロック大会(※)に参加する監督、選手団の派遣 (※都道府県参加枠数が47未満の競技・種目で予選会を実施)

<第75回国民体育大会日程・事業実施状況等>

○会期前開催： 令和2年9月12日(土)～20日(日)

○本大会： 令和2年10月3日(土)～13日(火)

<第76回国民体育大会冬季大会日程・事業実施状況等>

○冬季大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため秋田国体は中止

スケート競技 令和3年1月27日(水)～31日(日)

愛知県名古屋市 他 2名派遣(棄権)

スキー競技 令和3年2月18日(木)～21日(日)

秋田県鹿角市

(4) 国民体育大会記録誌事業

国民体育大会の本県選手の活動を収録した記録誌の発刊は新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会が延期となったため実績なし。

◆事業内容

国体参加競技の成果・今後の取り組み・選手団の写真や競技写真を掲載し、県下の学校、教育委員会には無償で配布を行い、大会出場選手など購入希望者については実費相当額で販売を行う事業であるが本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため国民体育大会が延期のため実績なし。

(5) 国際大会参加奨励事業

日本代表選手として、国際的な総合競技大会に派遣される選手に対し、奨励金を支給する事業であるが本年度は実績なし

【Ⅲ】 青少年スポーツ育成事業

(1) 奈良県スポーツ少年団事業

地域スポーツ少年団の普及と育成の活性化を図り、青少年にスポーツを振興し、心身の健全な育成に資することを目的に事業を実施した。

◆事業内容

○交流交歓事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

スポーツ少年団員の体力づくりや仲間づくりを通して、青少年の自主性及び創造性を育むための県内競技別交流大会や県スポーツ少年大会での野外活動、近畿・全国競技別交流大会を行う事業

○登録事業

令和2年度における登録市町村数は30市町村で、単位団数202団、団員3,606名、指導者954名となっている。

○指導者育成事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

スポーツ少年団活動の中心的指導者として活動を行うために必要な知識を習得のため日本スポーツ少年団等と共催で講習会等については全国指導者研究大会や近畿ブロック指導者研究協議会を行う事業

【IV】物品販売事業

【物品販売事業】

国民体育大会などの各競技会場において、当協会のオリジナルロゴの入ったウェア着用による組織的な応援や、各団体における一体感の醸成を目的として、統一ウェア着用を推進するため、オリジナルポロシャツを販売する事業を実施した。

◆実施状況 販売枚数 2枚

【V】理事会・評議員会等の開催

会議名	開催場所	開催年月日	主 な 内 容
理事会	ホテルリガ ーレ春日野	令和2年 6月10日 (第1回)	1 令和元年度事業報告及び財務諸表について 2 理事候補者の選任について 3 定時評議員会の開催について
	書面決議	令和2年 11月2日 (第2回)	1 競技力向上専門委員会副委員長の選任について 2 令和2年度募金活動について
	ホテルリガ ーレ春日野	令和3年 3月22日 (第3回)	1 常勤嘱託職員取扱規程の改正について 2 令和2年度補正予算(案)について 3 令和3年度事業計画(案)について 4 令和3年度収支予算(案)・資金調達及び設備投資の見込みについて 5 事務局長の任命について 6 評議員選定委員会に推薦する評議員候補者学識経験者について 7 臨時評議員会の開催について 8 評議員選定委員会委員の選定について 9 顧問の選任について 10 スポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況に関する自己説明・公表について

評議員会	ホテルリガ ーレ春日野	令和2年 6月30日 (定時)	1 令和元年度事業報告及び財務諸表について 2 理事の選任について
	ホテルリガ ーレ春日野	令和3年 3月30日 (臨時)	1 令和2年度補正予算(案)について 2 令和3年度事業計画(案)について 3 令和3年度収支予算(案)・資金調達及び設備 投資の見込みについて 4 評議員選定委員会に推薦する評議員候補につ いて

専門委員会の開催

ならスポーツフェスティバル専門委員会 第2回専門委員会	令和2年10月19日 令和3年2月26日	ホテルリガ ーレ春日野 ホテルリガ ーレ春日野
奈良県スポーツ協会スポーツ指導者協議会	令和3年3月29日	ホテルリガ ーレ春日野
スポーツ医科学専門委員会	令和3年3月11日	オンライン開催
奈良県スポーツ少年団総会	令和2年7月11日	橿原市万葉ホール
	令和3年3月14日	県産業会館

○「スポーツ団体のガバナンス強化に向けた基礎研修」

本会をはじめ各加盟団体が社会からの信頼を得ながら社会的責任を果たすために、スポーツ団体として適正なガバナンスの確保・強化を図るための研修の機会とする。

- ・開催日 令和3年2月2日(火) ホテルリガ
ーレ春日野
- ・参加者 奈良県スポーツ協会加盟団体 計 48名

「ガバナンスコードを通じて考える、スポーツ団体の在り方」

講師： 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構

のぞみ総合法律事務所 弁護士 劉^ゆセビョク 氏

【VI】募金活動事業

協力企業 42社 個人 27名